

2020年2月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 2月えんだより

2月聖句 「このように主によってしっかりと立ちなさい。」

<フィリピの信徒への手紙 4章1節>

例年に比べますと暖かい冬のようにですが、厳しい寒さが続いております。体調が良くない子ども達やご家族の方もおられます。一刻も早く回復されるようにお祈りすると共に、健康に留意しながら寒さを乗り切っていきましょう。

さて、風邪を引いて家で休んでいたり、怪我をして何か参加できない時には、元気な人や健康な人が羨ましく思う時があります。自分に無いものを持っている人を見ると、卑屈さを感じたり時には、妬む心を持ち合わせているのも事実です。又そんな自分が嫌になったり、自らの弱さを感じたり、時には、わざと相手の気を引くようなことをして、自分の存在を訴える場合もあります。

今月の聖句にあります「しっかりと立つ」つまり、子ども達が自立することは、私たちや保護者の皆さまも願っていることに相違はないと思います。「自立する」とは何かを考えますと、他人の助けはいらないと、何でも自分でしてしまうことでなく、強がってみせたり、孤立することでもなく、自分の弱さや未熟さをしっかりと認めて、助けを必要とする時に、素直に助けを求め、相手を信頼することではないかと思えます。聖書の例え話に、どんな病や怪我也治るとされる池の畔で、38年間、足が不自由で横たわる人の傍に、イエスがやってきて「あなたは治りたいか？治りたくないか？」と聞き「治りたい」と答えると「では、立って行きなさい」とだけ、イエスは答えた箇所があります。この足が不自由な人は、人に頼って生きようとしてはいましたが、決して人を信じてはいなかった。本当の意味で人に信頼していたわけではなかったのです。世間や人々を恨み、妬みながら生きていたのではないかと思えます。人は間違いをおこしますが、その弱さをしっかりと認めることに、「主にあって」という言葉があらわしています。

子ども達の日常をみていますと、特に最近では、信じて生きることの大切を痛感いたします。愛する人に守られ、信じてもらうことが、自らやってみたい、やってみようと思う気持ちが芽生えてくることに繋がり、又手伝って欲しい、助けて欲しいと言える素直な心や感謝する思いにも繋がるのだと思います。

年主題 『ことばに満たされて～ひびきあう～』

2月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	いっしょに	力あわせて
月の願い	＊知っている言葉を使って思いを伝えようとする ＊友達や保育者と一緒にいることを喜ぶ。	＊寒さの中でも守られているのちを知る。 ＊お互いの違いを認めつつ、助け合うことに喜びを感じる。 ＊友だちと伝え合ったり、話し合ったりしながら遊びを作り出す。
讃美歌	ちいさいおててに	きゅうこんのなかには こども改 135